

民進

Minshin Press (民主改題)

号外 静岡3区版
平成28年12月号

民進党 民進プレス編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
メール press@dpj.or.jp
URL https://www.minshin.jp

明日の日本 生活が第一

～ 協同・連帯 共生・安心 ～

衆議院議員 民進党静岡県第3区総支部長



小山のぶひろ

氏に訊く

TPPは承認すべきではない！

○TPP強行採決に断固反対・抗議する

私は、本年九月に民進党衆院国対 TPP問題検証チーム座長に就任し、アメリカ国民の約70%人々が反対であること、大統領候補だったトランプ氏、ヒラリー氏の両方が「TPP反対」であり、とりわけトランプ氏については「離脱」まで言及していることから、TPP審議はアメリカの動向を見極め、2017年通常国会で行うべきと主張してきました。そもそも、私は、自動車、医薬品、ISDS条項、農業など日本にとって得るものが少なく、危険なTPPに参加する必要はないと主張してきました。政府は「国の確実なTPP承認を日本は後押しする」と説明してきましたが、米大統領選挙でトランプ氏が当選し、オバマ大統領は任期中のTPP承認を断念し、トランプ氏も十一月中にはTPPからの離脱を表明しました。にもかかわらず、十一月十一日、政府・与党は衆院にてTPPを強行採決いたしました。2012年の総選挙においてTPP参加反対を公約とした自民党政府が、TPPを衆院にて強行採決したことは、完全な公約違反です。ちなみに安倍総理はその後、トランプ氏を訪問していますが、予算委員会でも外遊を報告すると一旦は約束しながら、反故にしました。報告できない程の大失態だったのでしよう。

○TPP反対は保護貿易のデマ

安倍さんは TPPに反対する保護貿易の風潮」と言っていますが、とんでもない「すりかえ」です。TPPに反対している人たちは「関税を上げよう」他

と言っているわけではありません。これ以上の急進的で、日本の国益を損ねる市場統合に反対し、現状の自由貿易体制の維持が望ましいと考えているのです。日本は十分に自由貿易国ですから、TPPに反対だから「保護貿易だ」というのは巧妙な「すりかえ」です。

○グローバリズム・急進的な市場統合主義を修正せよ

イギリスのEU離脱、TPPに反対する米国民が70%にまで上ったのはなぜでしょうか。まさに自由貿易の名のもとに市場統合を急ぎすぎたからではないでしょうか。市場統合はたしかに一部の人たちには利益をもたらしますが。しかし、域内に様々な社会問題……様々な格差、貧困、社会保障、国内産業の崩壊……もまき散らします。こういった問題の解決に、利益を得ている人々は、タックスヘイブンへと逃れることも示唆するなどして、負担を回避してきました。ごく一握りの人たちが多大な利益を得る一方で、問題に苦しむ多くの人たちの不満が現れたのが、世界各国でみられる市場統合・グローバリズムに対する反発の声ではないでしょうか。単に市場に任せておくだけでは社会は安定しません。これ以上不満の声が高まれば現状の自由貿易体制も後退させかねません。現状の自由貿易体制を維持していくためにも、急進的な市場統合、グローバリズム原理主義を修正し、格差を始めとする様々な社会問題の解決を図り、持続可能な社会・経済を構築するため、政治が機能しなければならぬと思います。

衆議院議員

小山 展弘